

## Jアラート発令時の対応について

※ Jアラートとは、「全国瞬時警報システム」の通称のことです。地震・津波・噴火・竜巻等の大災害の他弾道ミサイル発射・大規模テロ等国民の生命財産に危害を及ぼしかねない危険情報を国民に知らせ、早期の避難や予防措置等により被害の軽減を図るものです。

### 1. Jアラート等を通じて香川県に緊急情報が発信された場合

#### (1) 始業前

- ① 自宅で待機し、身の安全を確保すること。また、通学途中の場合は「下記の行動例を参照」して安全確保に努め行動すること。
- ② 実習・部活動等で校外活動している場合も、安全確保に努め引率教員の指示に従うこと。
- ③ 解除された場合(報道等で安全を確認すること)は登校すること。  
ただし、  
ア. 平常授業の場合 … 午前10時の時点で発令中の場合は臨時休業とする。  
イ. 午前授業の場合 … 午前9時の時点で発令中の場合は臨時休業とする。

#### (2) 始業後

- ① 身の安全を確保すること。その後、教職員の指示に従い行動すること。

### 2. 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について(文科省より)

#### (1) Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

※ ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で**特別なサイレン音**とともに**メッセージが流れる**他、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

#### ① 【屋外にいる場合の行動例】

- ア. 近くのできるだけ頑丈な建物や地下等に避難する。
- イ. 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部・耳を守る。

#### ② 【屋内にいる場合の行動例】

- ア. できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。

#### ③ 【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ア. 車は燃料等に引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街等に避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街等がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部・耳を守る。

#### (2) ミサイルが着弾した場合の行動例

- ① 近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ② 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

### 3. その他

- (1) 地震・津波・噴火・竜巻等の大災害の場合は、その種類に応じて身の安全を図る行動をとること。

**※ 大災害等が起きた場合は、身の安全を図り、落ち着いて行動すること！！**